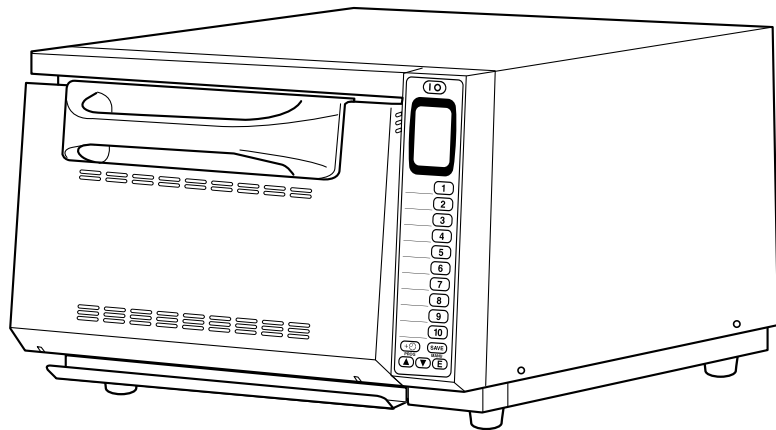




ウェーブスター 取扱説明書

(取扱説明編、工事説明編)

業務用



株式会社 **マグナ**

はじめに

このたびは、マグナのウェーブスターをお買いあげいただき
まことにありがとうございます。

<重要なお知らせ>

- この取扱説明書は「ウェーブスター」の正しい取扱方法について解説してあります。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みいただき、正しい使い方でご使用ください。
- まちがった使用をされますと、機能を十分に発揮しなかつたり故障や思わぬ事故を招くことがあります。
- 取扱説明編に従って正しく設置し、正しい操作、保守・点検を行ってください。
- この製品の保証書は取扱説明書とともに添付されています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 取扱説明書を紛失あるいは汚損した場合には、お買い上げ店、または当社営業所までご連絡ください。
- 製品を移設または譲渡するときは必ず取扱説明書を添付してください。

取扱説明編

1. 安全に使用していただくために	1
1.1 用語の定義	1
1.1.1 マーク解説	1
1.1.2 絵表示解説	1
1.1.3 用語解説	1
1.2 使用目的	2
1.3 禁止・要請事項	2
1.4 調理できない食材または調理に不向きな食材	3
1.5 使える容器・使えない容器	3
1.6 使用しないとき	5
2. 製品の説明	5
2.1 各部の名称	5
2.1.1 外観	5
2.1.2 オープン内	5
2.1.3 操作パネル	6
2.1.4 表示部	6
2.2 付属品	7
2.3 添付品	7
3. 使用方法	7
3.1 動作原理	7
3.1.1 加熱原理	7
3.1.2 加熱モード	8
3.1.3 ステージ調理	8
3.2 運転を開始する	8
3.2.1 電源を入れる	8
3.2.2 省エネ運転	9
3.3 メニュー調理を行う	10
3.4 マニュアル調理を行う	13
3.5 焼きが足りなかった場合は（追加調理）	17
3.6 運転を終了する	18
3.7 メニューを登録する	18
3.8 調理回数データ管理	22
3.8.1 調理回数を参照する	22
3.8.2 調理回数を個別にリセットする	23
3.8.3 調理回数を全てリセットする	23
3.9 メモリブロックによるデータ交換	24
3.9.1 メモリブロックから読み出す	25
3.9.2 メモリブロックに書き込む	27

4. 保守・点検	29
4.1 点検・お手入れ時の注意事項	29
4.2 日常の点検	29
4.3 日常の手入れ	29
4.4 部品の取り付け・取り外し	31
4.4.1 棚網およびくず受け	31
4.4.2 外付けトレイ	32
4.4.3 フィルタ	32
4.5 定期保守点検契約	32
5. 異常時の処置	33
5.1 故障かなと思ったら	33
5.2 エラー表示	34
5.3 アフターメンテナンス	34
6. 移設または廃棄するとき	35
6.1 移設する際の注意	35
6.2 廃棄する際の注意	35
7. 製品仕様	35
7.1 仕様	35
7.2 オプション	36

工事説明編

1. 設置前の注意事項	37
1.1 設置場所の確認	37
1.2 製品の確認	37
1.3 搬入時の注意	37
2. 据え付け工事・試運転	38
2.1 電気工事	38
2.1.1 使用電源	38
2.1.2 専用コンセントの設置	38
2.1.3 手元開閉器の設置	38
2.1.4 接地（アース）工事	38
2.1.5 漏電遮断器の設置	38
2.2 試運転	38
3. 移設	39
3.1 旧設置場所からの撤去作業	39
3.2 運搬	39
3.3 移設先での設置	39
4. 外形寸法	39
5. 電気回路図	40



取扱説明編

1. 安全に使用していただくために

この製品および取扱説明書への表示には、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と絵表示の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

1.1 用語の定義

1.1.1 マーク解説

警告 守らないと死亡、後遺症等の重大な被害の可能性があることを意味します。

注意 守らないと軽度の傷害が発生する可能性があることを意味します。

注記 守らないと製品本来の能力を発揮しない場合があることを意味します。

確認 特に確認していただきたいことを意味します。

メモ 特に知っておいていただきたい機能のことを意味します。

参照 参照項目・頁を記します。

1.1.2 絵表示解説

下に示す記号は取扱説明書や製品に表示して、使用者に注意を促すための記号です。表示の意味は次のようになっています。書かれた内容を注意深くお読みください。



爆発 引火や急激な化学反応による爆発に対すること



火災 発火による火災発生に対すること



ヤケド 高温やヤケドに対すること



感電 漏電、感電に対すること



電波漏れ 電波漏れに対すること

1.1.3 用語解説






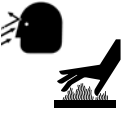
名称	解説
業務用	「一般の住居で使用されるもの以外をいい、一般食堂、ホテル、レストラン、仕出し、軽食、喫茶、病院、学校、事業所、工場等で使用されるもの」 出典：「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」（一般財団法人 日本ガス機器検査協会発行） 監修：経済産業省原子力安全・保安院ガス安全課、日本建築行政会議、全国消防長会
メニュー調理	あらかじめ登録されているメニューで調理を行うこと
マニュアル調理	調理時間等を調理ごとに設定してから調理を行うこと
運転	電源を入れてオープンを作動させること
予熱温度	調理が開始できる温度
予熱運転	オープン温度を予熱温度まで立ち上げ、保つこと
省エネ運転	待機時の消費電力を抑えるため、オープン温度を予熱温度よりも低くして運転すること

1.2 使用目的


この機器は加熱調理に使用する目的で作られた業務用オーブンです。

1.3 禁止・要請事項

⚠ 警告

	<p>業務用のみに使用する。 家庭用を使用すると、事故やケガの原因になります。</p>
	<p>分解、改造をしない。 火災、爆発、感電等の恐れがあります。</p>
	<p>食品の加熱にのみ使用する。 火災、爆発等の恐れがあります。</p> <p>可燃物を近づけない。 火災、爆発の恐れがあります。</p> <p>殺虫剤等の可燃物を吹き付けない。 火災、爆発の恐れがあります。</p> <p>地震が起こったら使用を中止する。 火災、爆発の恐れがあります。</p> <p>使用後は電源を切る。 火災、爆発の恐れがあります。</p>
	<p>使用後は手元開閉器またはブレーカを切る。 火災の恐れがあります。</p> <p>オーブン内を清潔に保つ。 火災の恐れがあります。</p>
	<p>製品に水をかけない。 感電、故障および誤作動の恐れがあります。</p> <p>操作パネルを先端の硬いものや尖ったもので押さない。 操作パネルの破損による感電、誤作動の恐れがあります。</p> <p>濡れた手で操作パネルや電装部に触れない 感電、誤作動の恐れがあります。</p>
	<p>扉に物を挟んだまま使用しない。 電波漏れ、故障の原因になります。</p> <p>開けた扉に力を加えない。 扉の密着が悪くなり、電波漏、熱気漏れの原因になります。</p>

⚠ 注意

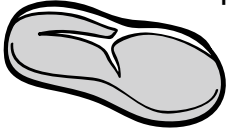
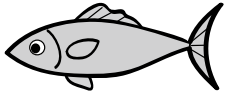

	<p>運転中、運転終了直後は扉ハンドルおよび操作パネル以外に素手で触れない。 ヤケドの恐れがあります。</p>
---	--

注記 オープン内が空の状態です調理運転を行わない。
故障の原因になります。

1.4 調理できない食材または調理に不向きな食材

×：調理できない

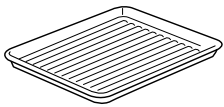
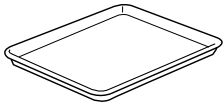
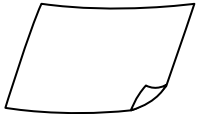
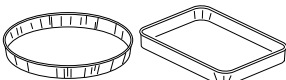

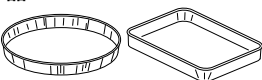




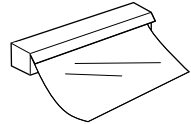
△：調理できない場合がある

食材の種類	ヒータ加熱	ヒータ加熱＋ マイクロウェーブ加熱
肉類 	× 故障の原因になる	× 故障の原因になる
魚類 		
冷凍品 	△ <ul style="list-style-type: none"> 調理に時間がかかる 芯温が上がらない 	× <ul style="list-style-type: none"> 調理に時間がかかる 芯温が上がらない 故障の原因になる

これらの食材が少量または内部に含まれている場合は、調理できることもありますので、詳しくは販売店までお問い合わせください。

1.5 使える容器・使えない容器

- 調理の際、油や汁（ドリップ）が出る食品はオープン内の汚れや煙が発する原因になります。できるだけ受け皿状の容器に入れて調理してください。
- 故障の原因となりますので、棚網からはみ出さずにのせられ、庫内の天井にぶつからない大きさ（270mm × 189mm × 167mm 以内）の容器を使用してください。
- 容器によって調理の仕上がりや調理時間に大きな差がでます。以下の表を目安にして、最良の仕上がりが得られるようにメニューに合わせて最適な容器を選んでください。

容器の種類	ヒータ加熱	ヒータ加熱+ マイクロウェーブ加熱	目的
専用波型パン (オプション) 	○ グリッド状の焼き色 がきれいにつく。	○ グリッド状の焼き色 がきれいにつく。	食材底面に炭化焦げが出る場合、その防止策として使用できます。また、チーズやドリップなどをヒータに落とすのを防ぎます。
専用平型パン (オプション) 	○ 焼き皿に密着する食材では下面からの熱伝導がよい。	○ 焼き皿に密着する食材では下面からの熱伝導がよい。	
J Pシート (オプション) 	○ 主に上面の焼き色をきれいに付ける。	○ 下面の焦げを防ぐ。	樹脂製の耐熱シートです。水洗いして繰り返し使用できます。棚網に直接乗せて使用することで、チーズなどをヒータに落とすのを防止できます。また食材底面に棚網の焼き目をつけたくないときにも使用できます。
アルミホイル容器 	○ 焼き皿に密着する食材では下面からの熱伝導がよい。	△ マイクロウェーブの効果が少ない。	チーズ焼きなど、容器ごと提供したいメニューのとき使用できます。
陶器 磁器 (グラタン皿など) 			
耐熱性紙容器 (使い捨て) 	△ 下面の焼き色が弱い。	△ 下面の焼き色が弱い。	
耐熱性樹脂容器 			
耐熱性ガラス容器 			
耐熱性のない容器 (紙・樹脂・ガラス) 			
漆器 	× 使えない。	× 使えない。	—
ラップ 			

※マイクロウェーブの使用状況によっては、底面に炭化焦げが出る場合があります。

1.6 使用しないとき

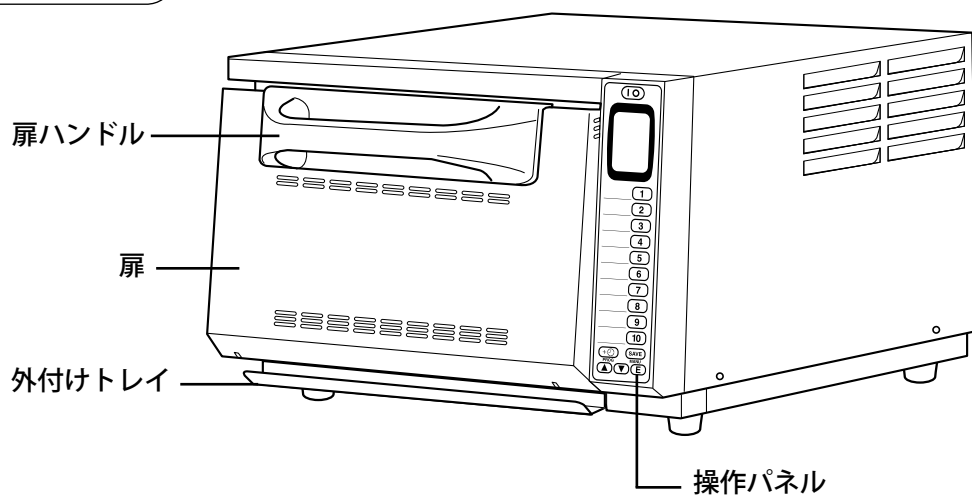
ご使用にならないときは、手元開閉器またはブレーカを切ってください。
製品の温度が十分下がってから、製品の清掃をしてください。

参照 清掃については→「4.3 日常の手入れ」28頁

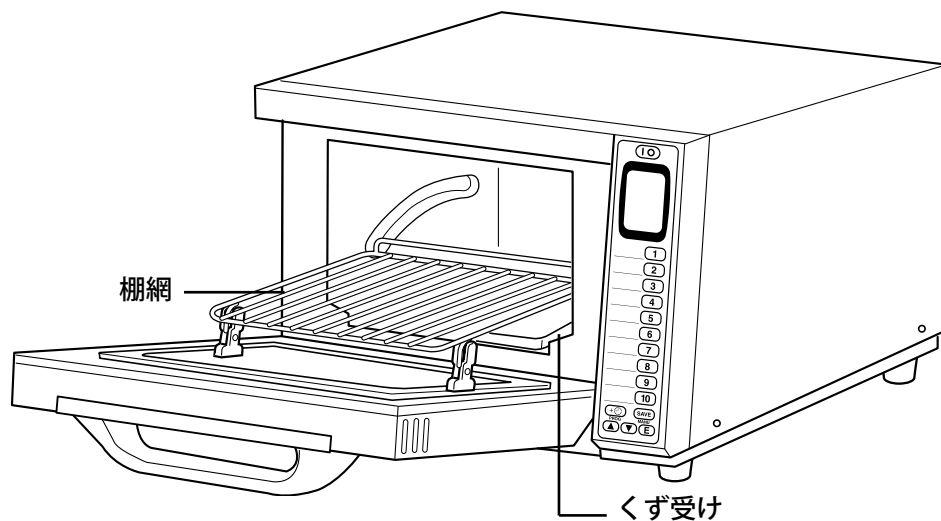
2. 製品の説明

2.1 各部の名称

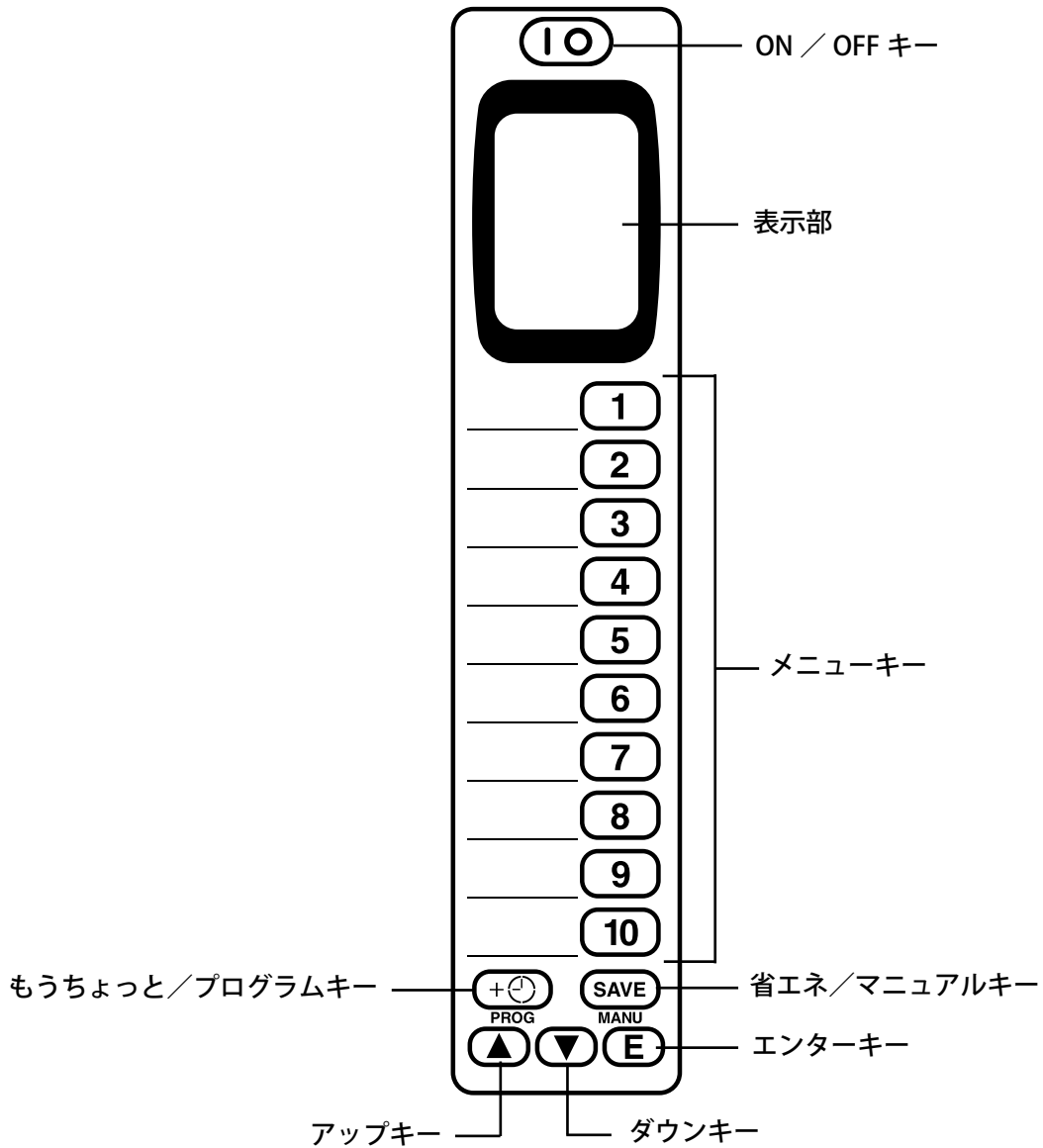
2.1.1 外観



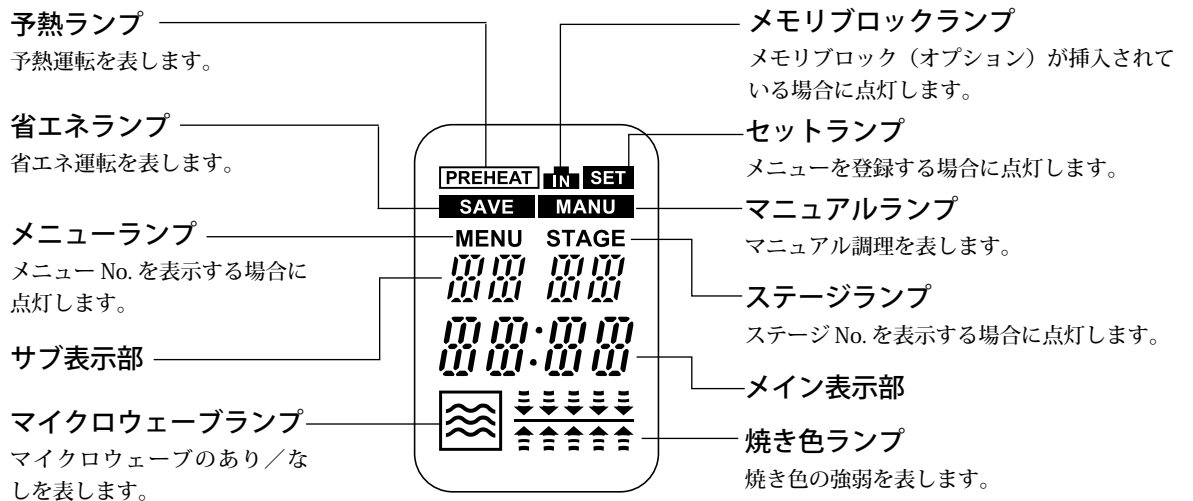
2.1.2 オープン内



2.1.3 操作パネル

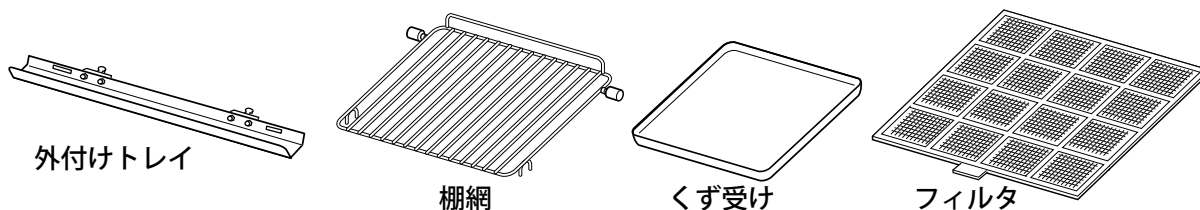


2.1.4 表示部



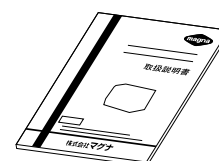
2.2 付属品

最初に使用する前に付属品を確認してください。



2.3 添付品

最初に使用する前に添付品を確認してください。



取扱説明書（本書）

3. 使用方法

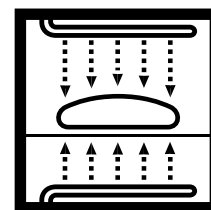
3.1 動作原理

この製品はヒータ加熱とマイクロウェーブ加熱を組み合わせることで、表面は香ばしく焼き目を付け、内部はふっくらと調理することができます。

3.1.1 加熱原理

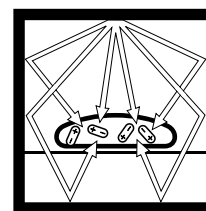
● ヒータ加熱

ヒータがオーブンの上下に配置され、食品全体を表面から加熱します。加熱の具合はヒータ表面温度でコントロールされますので、安定した焼き上がりの調整ができます。



● マイクロウェーブ加熱

マイクロウェーブは電磁波の一種であり、光と同じ速度で直進し、物質に当たると反射・透過・吸収の現象を起こします。食品に照射されたマイクロウェーブは食品内部の分子（特に水分子）の回転運動エネルギーになり、最後は熱に変わります。それによって食品の内部から急速に加熱することができます。



3.1.2 加熱モード

- ヒータ加熱モード
ヒータ加熱のみを行い、食品を上下から焼き上げます。
焼き色の強さを上下それぞれ2段階（強・弱）に調節できます。
- ヒータ+マイクロウェーブ加熱モード
ヒータ加熱とマイクロウェーブ加熱を同時に行い、食品を内部からも加熱します。

注記 マイクロウェーブ加熱のみを行うことはできない。

3.1.3 ステージ調理

個々の調理で加熱モードを最大3段階（ステージ）に分けて設定することができます。
これをステージ調理といい、これにより細かな加熱工程が設定でき、優れた仕上がりを得ることができます。

ステージ調理の設定例

総調理時間 [秒]			120							
調理ステージ			ステージ 1		ステージ 2		ステージ 3			
調理ステージごとの設定	調理時間 [秒]		40		→	60		→	20	
	焼き色	上	強			強			弱	
		下	強			弱			弱	
	マイクロウェーブ加熱		あり			なし			なし	

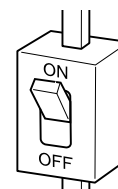
3.2 運転を開始する

確認 棚網およびくず受けが取り付けられていること。
棚網およびくず受けの取り付けについては「4.4 部品の取り付け・取り外し」30頁を参照してください。

3.2.1 電源を入れる

1 電源プラグをコンセントに差し込む。

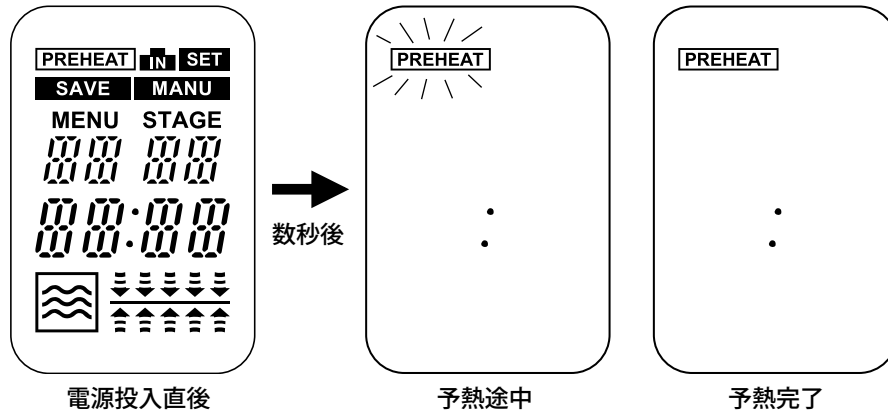
2 手元開閉器またはブレーカを入れる。



3 ON / OFF キー (IO) を押す。

表示部が全点灯し、その数秒後、予熱ランプが点滅、それ以外のランプが消灯し、予熱運転が開始されます。
メモリブロック（オプション）が挿入されている場合はメモリブロックランプが点灯します。

ランプの○は消灯、●は点灯、◐は点滅の状態を表わします。



メモ 予熱ランプは以下の状態を示す。

点滅：予熱途中

オープン温度が調理温度まで達していません。この状態では調理を開始できません。

点灯：予熱完了

調理を開始できる状態です。

消灯：省エネ運転中、調理中、メニュー登録中

省エネ運転中は調理を開始できません。

省エネ運転については「3.2.2 省エネ運転」8頁を参照してください。

メモ 予熱完了まで約 15 分かかる。

メモ 予熱途中と予熱完了の状態を合わせて予熱運転という。

3.2.2 省エネ運転

待機時の消費電力を抑える場合は、省エネ運転を行います。

1 省エネキー (SAVE) を押す。

省エネランプが点灯、予熱ランプが消灯し、省エネ運転が開始されます。



2 省エネ運転を解除する場合は、もう一度省エネキー (SAVE) を押す。

省エネランプが消灯し、予熱運転が開始されます。



注記 省エネ運転中は調理できない。

省エネ運転を解除し、予熱ランプが点灯してから調理を行って下さい（約5分かかります）。

3.3 メニュー調理を行う

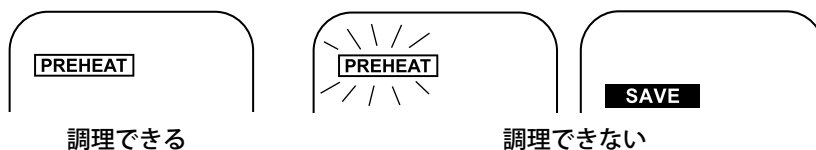
あらかじめ登録されているメニューで調理する場合は、メニュー調理を行います。

注記 メニューが登録されていないと、メニュー調理を行えない。

メニューの登録については「3.7 メニューを登録する」17頁を参照してください。

注記 予熱ランプが点灯していないと調理が行えない。

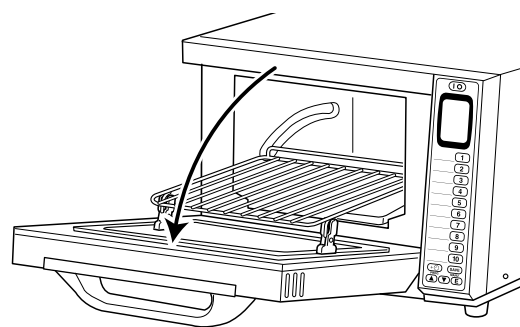
調理を開始しようとすると、エラー音（ピピピピッ）が鳴ります。



1 扉ハンドルを持ち、扉を開ける。

メモ 扉の開閉はできるだけ速やかに行う。

予熱ランプ点灯時に扉を開けてから1分間は、オープン温度に関係なく調理ができます。

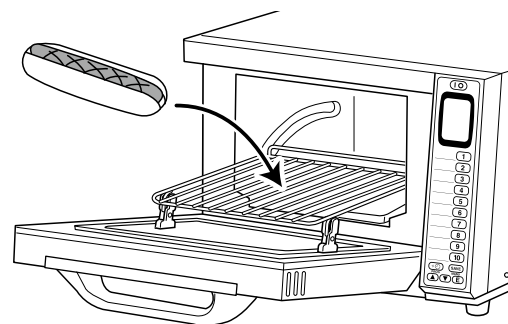


2 棚網に食材をのせる。

注意



運転中はオープン内に素手で触れない。
ヤケドの恐れがあります。



注記 予熱ランプ点灯時に扉を開けて、45秒経過すると警告ブザーが鳴り続ける。

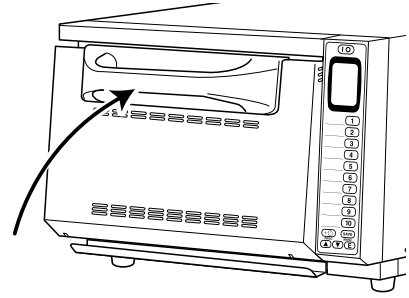
ブザー（「ピー」っと継続的に鳴る）が鳴っているうちに、できるだけ早く扉を開けてください。

注記 そのまま扉が開いた状態で、1分以上経過すると、ブザー音は停止するが、オープン温度が調理温度よりも下がり、調理ができなくなる。

ドアを閉め、予熱ランプが点灯するのを待って調理をやり直してください。

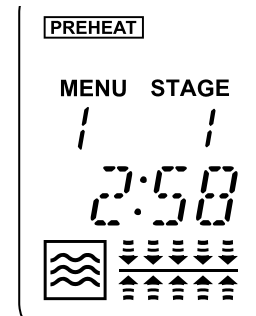
3 扉ハンドルを持ち、扉を閉める。

注記 食材をオープンに入れたら、その後の操作を素早く行う。
食材が加熱されすぎてしまいます。

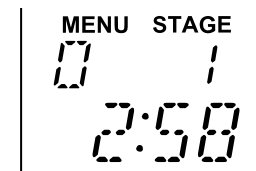


4 調理するメニューのメニューキー（**1**～**10**）のどれか）を押す。

調理が開始され、選択したメニューの内容が表示されます。
メイン表示部には調理の残り時間が表示されます。

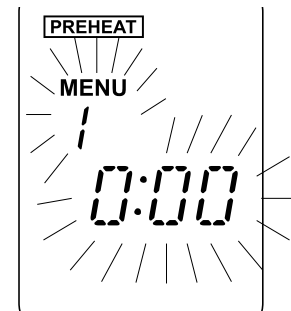
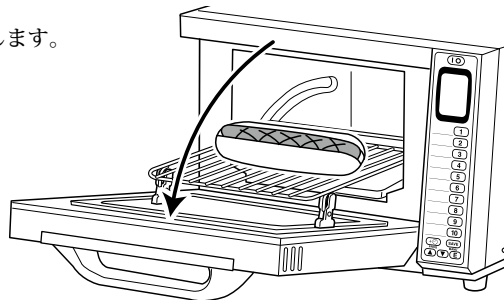


メモ メニューが No.10 の場合は、サブ表示部左側に「0」と表示される。

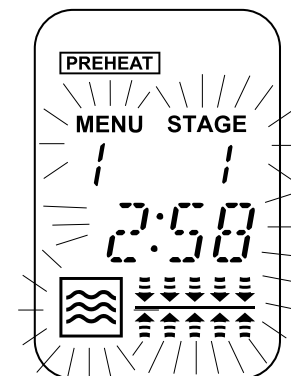


5 調理が終了し、ブザーが鳴ったら扉を開ける。

調理が終了すると、残時間が「0:00」で点滅し、ステージランプ、ステージ No.、マイクロウェーブランプおよび焼き色ランプが消灯します。
扉を開けるとブザーが停止します。

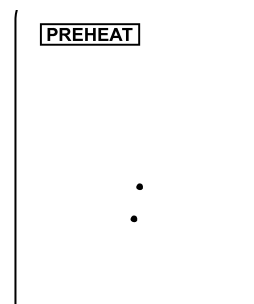


メモ 調理中に扉を開けると調理時間のカウントが中断する。
扉を閉めてから調理しているメニューのメニューキー（**1**～**10**）のどれか）をもう一度押すと調理時間のカウントが再開される。
調理中断時はメニューの内容が全て点滅します。



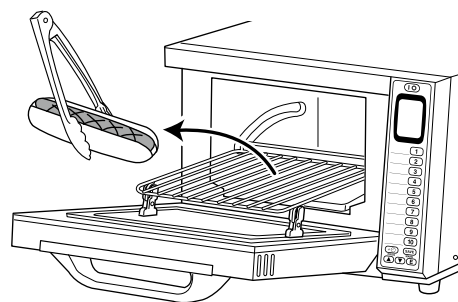
メモ 調理しているメニューのメニューキー
（**1**～**10**のどれか）を2秒間押すと、
調理を中止できる。

調理していたメニューの内容が全て消灯し、予熱運転に
戻ります。



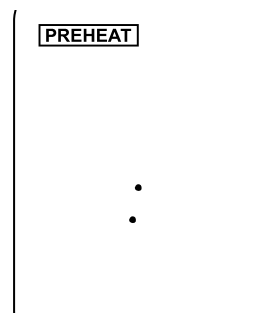
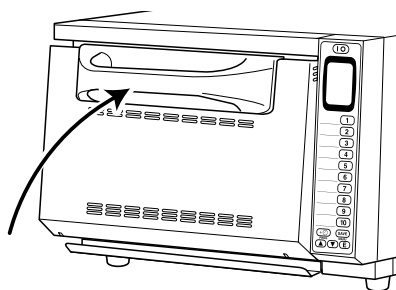
6 棚網から食材を取る。

注記 扉を長く開けているとオープン温度が下がり、
調理できなくなる。



7 扉ハンドルを持ち、扉を閉める。

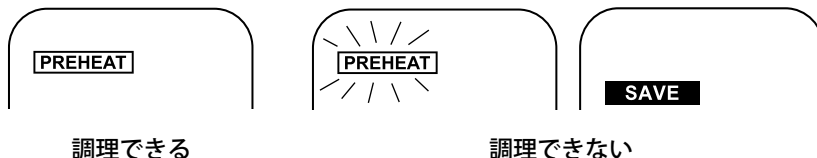
予熱運転に戻り、メニューランプ、メニュー No. および残り時間が
消灯します。



3.4 マニュアル調理を行う

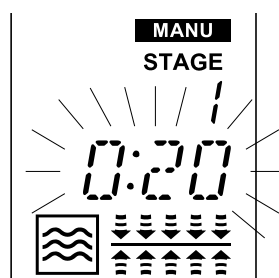
登録されていないメニューを調理する場合は、マニュアル調理を行います。

注記 予熱ランプが点灯していないと調理が行えない。
調理を開始しようとすると、エラー音（ピッピッピッ）が鳴ります。

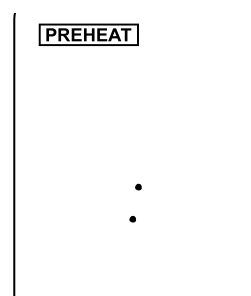


1 省エネ/マニュアルキー **(SAVE)** を2秒間押す。
マニュアルキーが点灯し、前回行ったマニュアル調理の内容が表示されます。メイン表示部の調理時間が点滅します。

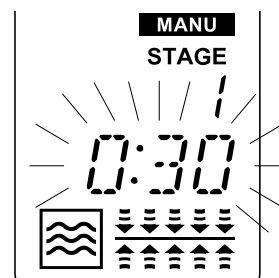
メモ サブ表示部に点灯する数字は、設定するステージ No. を表す。



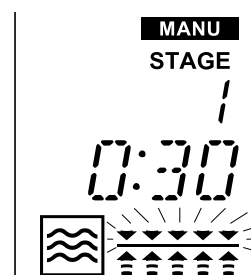
メモ マニュアル調理の設定を中止する場合は、省エネ/マニュアルキー **(SAVE)** を2秒間押す。
マニュアル調理の内容が全て消灯し、予熱運転に戻ります。





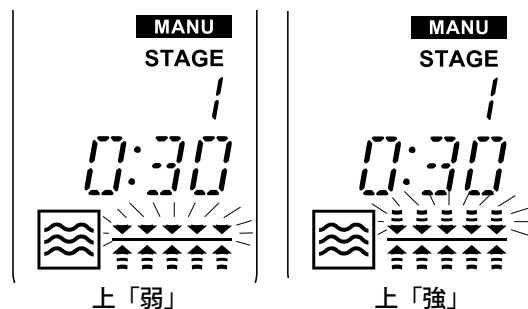
2 アップキー **(▲)** またはダウンキー **(▼)** で調理時間を変更する。
時間は1回押すごとに1秒ずつ、押し続けると連続して変わります。
設定範囲はステージ1の場合で1秒～29分59秒ステージ2および3の場合で0秒～29分59秒です。




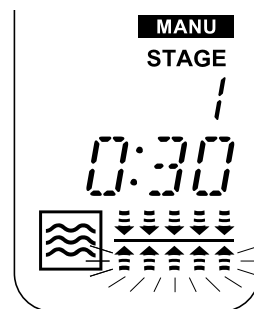
3 もうちょっと/プログラムキー **(+⌚)** を押す。
調理時間が点灯になり、焼き色ランプ（上）が点滅します。





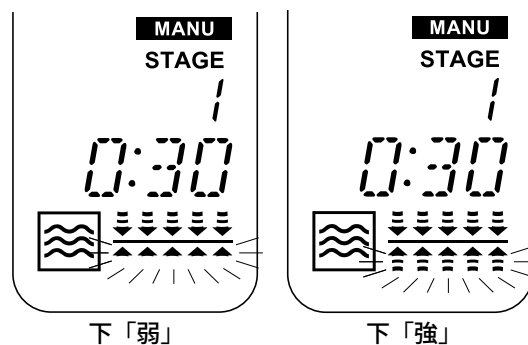
- 4** アップキー  またはダウンキー  で焼き色(上)を変更する。
 押すごとに焼き色(上)が弱と強に切り替わります。




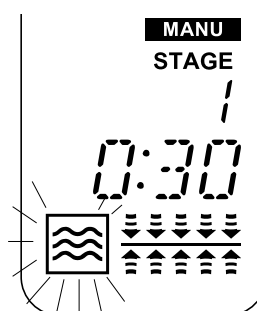
- 5** もうちょっと/プログラムキー  を押す。
 焼き色ランプ(上)が点灯になり、焼き色ランプ(下)が点滅します。





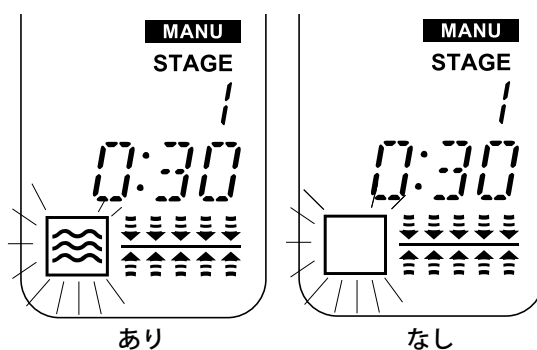
- 6** アップキー  またはダウンキー  で焼き色(下)を変更する。
 押すごとに焼き色(下)が弱と強に切り替わります。



- 7** もうちょっと/プログラムキー  を押す。
 焼き色ランプ(下)が点灯になり、マイクロウェーブランプが点滅します。

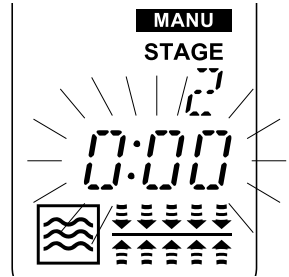


- 8** アップキー  またはダウンキー  でマイクロウェーブのあり/なしを変更する。
 押すごとにあり/なしが切り替わります。




9 もうちょっと／プログラムキー を押す。

マイクロウェーブランプが点灯になり、サブ表示部に2が点灯、メイン表示部に調理時間が点滅します。



10 手順 2～9 の操作を繰り返し、ステージ 2 および 3 の設定も同様に行う。

メモ ステージ 2 以降を使用しない場合はステージ 2 の調理時間を 0 秒に設定する。
ステージ 3 のみを使用しない場合はステージ 3 の調理時間を 0 秒に設定する。
調理時間を 0 秒に設定すると、それ以降の設定は行われなくなります。

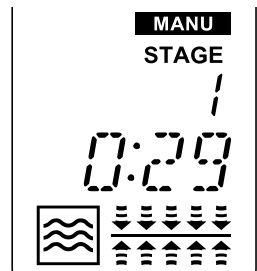
メモ 調理時間が 0 秒の状態またはステージ 3 のマイクロウェーブを設定する状態で、
もうちょっと／プログラムキー  を押すと、ステージ 1 の調理時間を設定する状態に戻る。

11 食材をオープンに入れて、扉を閉める。

参照 「3.3 メニュー調理を行う」 9 頁

12 エンターキー を押す。

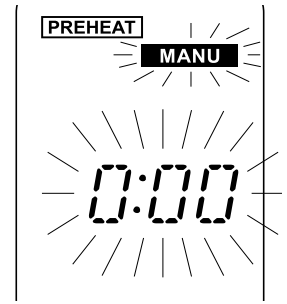
調理が開始され、選択したメニューの内容がステージ 1 から表示されます。点滅する表示はなくなり、メイン表示部には調理の残り時間が表示されます。



13 調理が終了し、ブザーが鳴ったら扉を開ける。

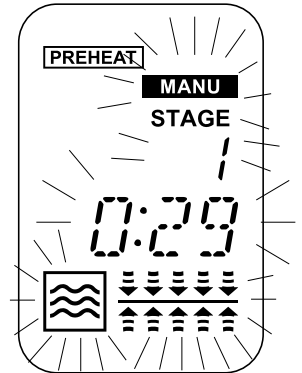
調理が終了すると、マニュアルランプおよび残時間（「0:00」）が点滅し、ステージランプ、ステージ No.、マイクロウェーブランプおよび焼き色ランプが消灯します。
扉を開けるとブザーが停止します。

参照 扉の開け方については→
「3.3 メニュー調理を行う」9頁

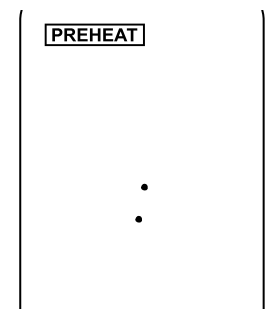


メモ 調理中に扉を開けると調理時間のカウントが中断する。扉を閉めてから省エネ/マニュアルキー **(SAVE)** を押すと、調理時間のカウントが再開される。

調理中断時はマニュアル調理の内容が全て点滅します。



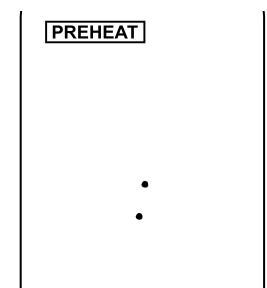
メモ マニュアル調理を中止する場合は、省エネ/マニュアルキー **(SAVE)** を2秒間押す。マニュアル調理の内容が全て消灯し、予熱運転に戻ります。



14 食材を取り出し、扉を閉める。

扉を閉めると、予熱運転に戻り、マニュアルランプおよび残り時間が消灯します。


参照 食材の取り出しおよび扉の閉め方については
→「3.3 メニュー調理を行う」9頁



3.5 焼きが足りなかった場合は（追加調理）

調理終了後、食材の焼きが足りなかった場合は、少しの時間だけ追加して調理を行うことができます。
これを追加調理といいます。


1 メニュー調理またはマニュアル調理終了後に扉を開けて、食材の焼きが足りなかったら、食材を取り出さずに扉を閉める。

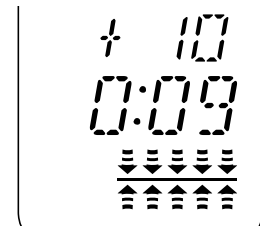
2 もうちょっと／プログラムキー  を押す。

調理が開始されます。

焼き色ランプおよびサブ表示部左側に「+ 10」が点灯し、メイン表示部には調理の残り時間が表示されます。

注記 調理が終了してから 20 秒経過すると追加調理ができなくなる。

もうちょっと／プログラムキー  を押しても反応しなくなります。

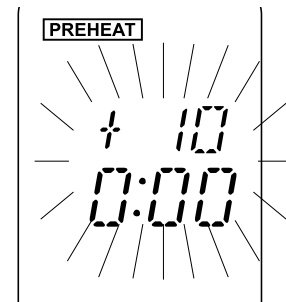


3 調理が終了し、ブザーが鳴ったら扉を開ける。


調理が終了すると、「+ 10」表示および残時間（「0:00」）が点滅し、焼き色ランプが消灯します。

扉を開けるとブザーが停止します。

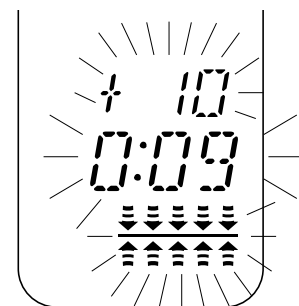
参照 扉の開け方については→
「3.3 メニュー調理を行う」9頁




メモ 調理中に扉を開けると調理時間のカウントが中断する。

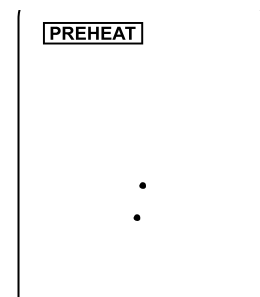
扉を閉めてからもうちょっと／プログラムキー  を押すと、調理時間のカウントが再開される。

調理中断時は「+ 10」表示、残時間および焼き色ランプが点滅します。



メモ もうちょっと／プログラムキー  を 2 秒間押すと、調理を中止できる。

予熱運転に戻ります。



4 食材を取り出し、扉を閉める。

扉を閉めると、予熱運転に戻り、「+ 10」表示および残り時間が消灯します。

参照 食材の取り出しおよび扉の閉め方については
→「3.3 メニュー調理を行う」9頁

PREHEAT

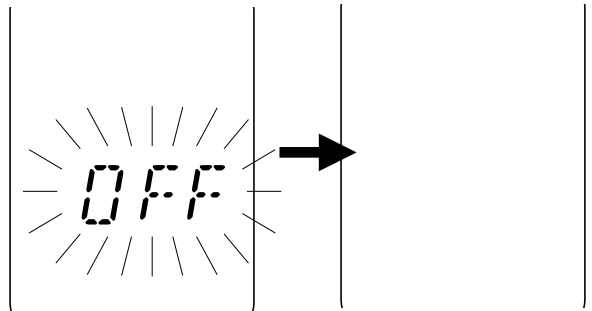
⋮

3.6 運転を終了する

1 ON / OFF キー を押す。

メイン表示部に「OFF」が点滅し、それ以外のランプは消灯して、冷却運転が開始されます。
冷却運転が終了すると「OFF」表示が消灯し、電源が切れます。

メモ 予熱完了の状態から電源が切れるまで約30分かかる。

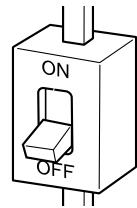


冷却運転中

冷却運転終了

2 「OFF」表示が消えたら、手元開閉器またはブレーカを切る。

注記 「OFF」表示が消灯するまで手元開閉器またはブレーカを切らない。
故障の原因になります。




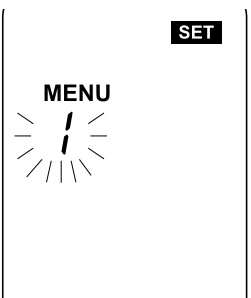
3.7 メニューを登録する

メニュー調理を行う場合は、あらかじめメニューを登録しておく必要があります。登録できるメニューは最大10種類です。

メモ 電源が入っている状態で、調理中以外であればメニューを登録できる。

1 もうちょっと / プログラムキー を2秒間押す。 予熱ランプが消灯、セットランプ、メニューランプが点灯し、サブ表示部左側にメニュー No. が点滅します。

メモ メニュー登録を中止したい場合は、
もうちょっと / プログラムキー  を2秒間押す。
メニューは登録されず、メニュー登録を行う前の状態に戻ります。

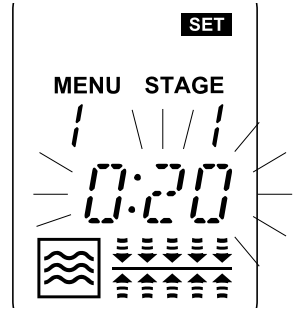


2 登録するメニューのメニューキー

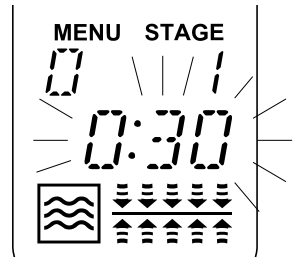
(**1** ~ **10**) のどれか) を押す。

メニュー No. が点灯し、現在の設定内容が表示され、メイン表示部の調理時間が点滅します。

メモ サブ表示部右側に点灯する数字は、設定するステージ No. を表す。

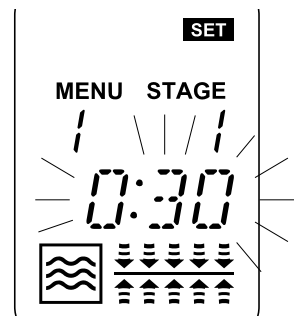


メモ メニュー No.10 の場合は、サブ表示部左側に「0」と表示される。



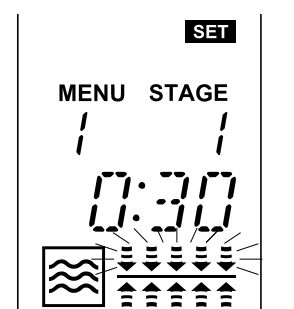
3 アップキー (▲) またはダウンキー (▼) で調理時間を変更する。

時間は1回押しごとに1秒ずつ、押し続けると連続して変わります。設定範囲はステージ1の場合で1秒~29分59秒ステージ2および3の場合で0秒~29分59秒です。



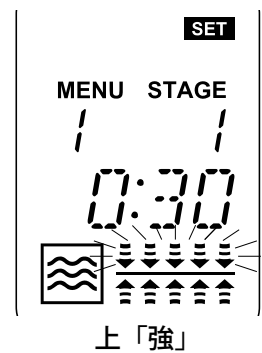
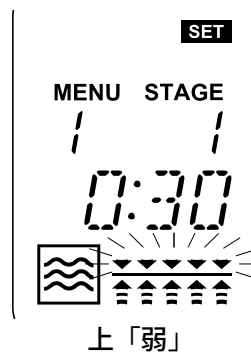
4 もうちょっと/プログラムキー (+☺) を押す。

調理時間が点灯になり、焼き色ランプ (上) が点滅します。

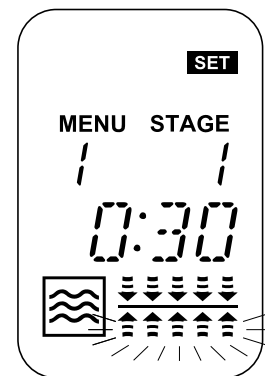


5 アップキー (▲) またはダウンキー (▼) で焼き色 (上) を変更する。

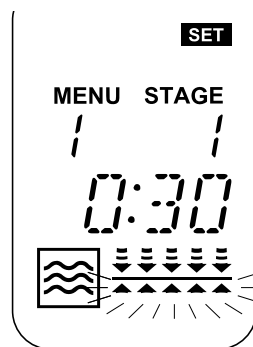
押しごとに焼き色 (上) が弱と強に切り替わります。



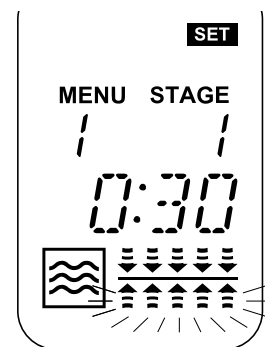
- 6 もうちょっと／プログラムキー (+) を押す。
焼き色ランプ (上) が点灯になり、焼き色ランプ (下) が点滅します。



- 7 アップキー (▲) またはダウンキー (▼) で焼き色 (下) を変更する。
押すごとに焼き色 (下) が弱と強に切り替わります。

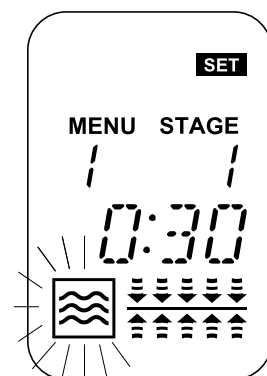


下「弱」

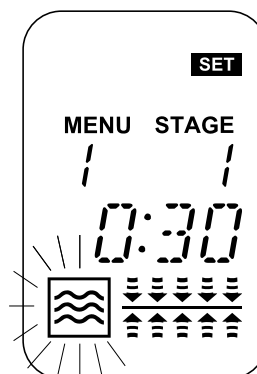


下「強」

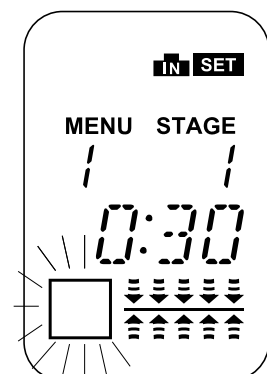
- 8 もうちょっと／プログラムキー (+) を押す。
焼き色ランプ (下) が点灯になり、マイクロウェーブランプ が点滅します。




- 9 アップキー (▲) またはダウンキー (▼) でマイクロウェーブのあり／なしを変更する。
押すごとにあり／なしが切り替わります。



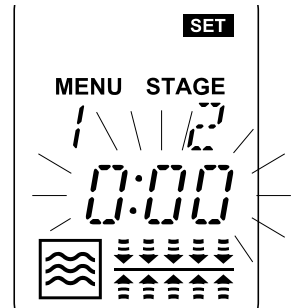
あり



なし


10 もうちょっと／プログラムキー  を押す。


マイクロウェーブランプが点灯になり、サブ表示部に2が点灯、メイン表示部に調理時間が点滅します。



11 手順 **3** ~ **10** の操作を繰り返し、ステージ2 および3の設定も同様に行う。

メモ ステージ2以降を使用しない場合はステージ2の調理時間を0秒に設定する。
ステージ3のみを使用しない場合はステージ3の調理時間を0秒に設定する。
調理時間を0秒に設定すると、それ以降の設定は行われなくなります。

メモ 調理時間が0秒の状態またはステージ3のマイクロウェーブを設定する状態で、
もうちょっと／プログラムキー  を押すと、ステージ1の調理時間を設定する状態に戻る。

12 エンターキー  を押す。

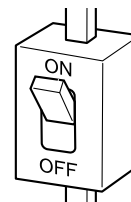
メニューが登録され、メニュー登録を行う前の状態に戻ります。

3.8 調理回数データ管理

メニュー調理およびマニュアル調理の調理回数はデータとして記憶されており、その内容を参照またはリセットする(0 回に戻す) ことができます。

3.8.1 調理回数を参照する

- 確認** 電源プラグがコンセントに差し込まれていること。
手元開閉器またはブレーカが入れてあること。



1 電源が切れた状態または冷却運転中に

もうちょっと/プログラムキー **(+⌚)** を押しながら
ON / OFF キー **(10)** を押す。

メニューランプが点灯し、サブ表示部に「1」(メニュー No. を表す)が、メイン表示部にその調理回数が表示されます。
この状態を調理回数参照モードといいます。
調理回数は 0 ~ 9999 回まで表示され、9999 回を超えると 0 に戻ります。

MENU

1

15

- メモ** 電源の切り方および冷却運転については
→「3.6 運転を終了する」17頁

2 参照する調理回数がマニュアル調理の場合は

省エネ/マニュアルキー **(SAVE)** を、
メニュー調理の場合はメニューキー
(**(1)** ~ **(10)** のどれか) を押す。

マニュアル調理の場合はマニュアルランプが点灯し、メイン表示部にその調理回数が表示されます。
メニュー調理の場合はメニューランプが点灯し、サブ表示部にメニュー No. が、メイン表示部にその調理回数が表示されます。

MENU

2

4

メニュー調理

MANU

5

マニュアル調理

3 参照が終わったらエンターキー **(E)** を押す。


電源を切れた状態または冷却運転になります。


3.8.2 調理回数を個別にリセットする

調理回数を各メニュー個別にリセットする場合は以下の操作を行ってください。

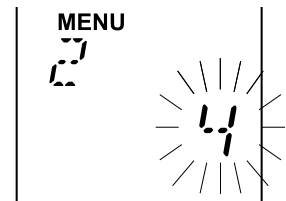
- 1 調理回数参照モードで調理回数をリセットする調理を選択する。


参照 「3.8.1 調理回数を参照する」 21頁

- 2 もうちょっと／プログラムキー  を5秒間押す。
調理回数が点滅します。この状態を調理回数個別リセットモードと
いいます。

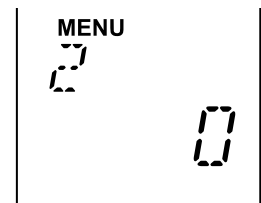
メモ 調理回数個別リセットモードでリセットを中止する場合は省エネ／マニュアルキー  を押す。

調理回数参照モードに戻ります。



- 3 エンターキー  を押す。
調理回数が「0」になり、調理回数参照モードに戻ります。

参照 調理回数参照モードの終了については→
「3.8.1 調理回数を参照する」 21頁






3.8.3 調理回数を全てリセットする

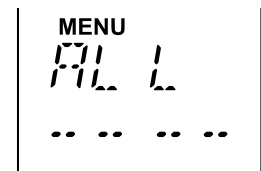
調理回数を全てリセットする場合は以下の操作を行ってください。

- 1 調理回数参照モードに入る。

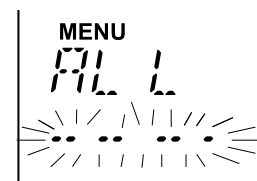
参照 「3.8.1 調理回数を参照する」 21頁

- 2 アップキー  およびダウンキー  を同時に5秒間押す。
メニューランプが点灯し、サブ表示部に「ALL」、メイン表示部に「---」が表示されます。この状態を調理回数オールリセットモードと
いいます。

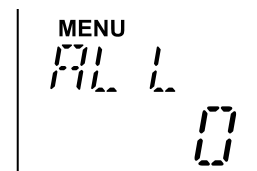
メモ 調理回数オールリセットモードでリセットを中止する場合は
省エネ／マニュアルキー  を押す。
調理回数データ参照モードに戻ります。



- 3 もうちょっと／プログラムキー (+🕒) を 5 秒間押す。
メイン表示部の「-----」が点滅します。



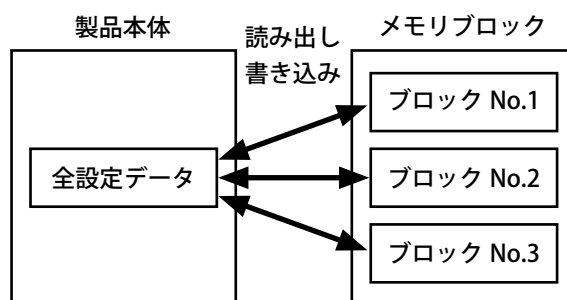
- 4 エンターキー (E) を押す。
メイン表示部に「0」が表示され (全ての調理回数がリセットされ)、
調理回数参照モードに戻ります。



参照 調理回数参照モードの終了については
→「3.8.1 調理回数を参照する」21頁

3.9 メモリブロックによるデータ交換

メモリブロック (オプション) を使用することにより、マニュアル調理やメニュー調理等の全設定データをメモリブロックから製品本体に読み出したり、製品本体からメモリブロックへ書き込んだりすることができます。
メモリブロックにはデータを保存している領域 (ブロック) が3つあり、各ブロックに製品1台分の全設定データを保存することができます。
別々の製品間でデータのやりとりをする場合や、設定を変更する前に今のデータを保存する場合などに行ってください。



注記 メモリブロックから読み出しを行うと、製品の全設定データが書き替えられる。
誤って書き替えないように注意してください。

注記 メモリブロックに書き込みを行うと、そのブロックの全設定データが書き替えられる。
誤って書き替えないように注意してください。

メモ メモリブロックが製品本体に取り付けられたままだと、運転等の操作は通常通り行える。
電源が入った状態ではメモリブロックランプが点灯します。

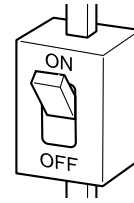


参照 オプションについては→
「7.2 オプション」35頁

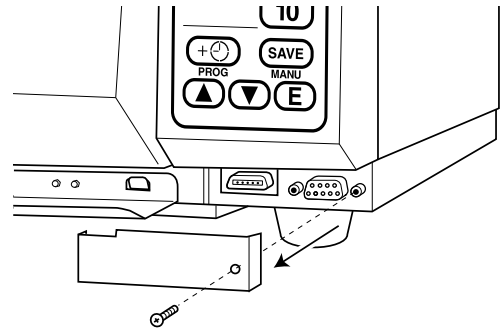
3.9.1 メモリブロックから読み出す

メモリブロックからデータを読み出す場合は以下の操作を行ってください。

- 確認** 電源プラグがコンセントに差し込まれていること。
手元開閉器またはブレーカが入れていること。

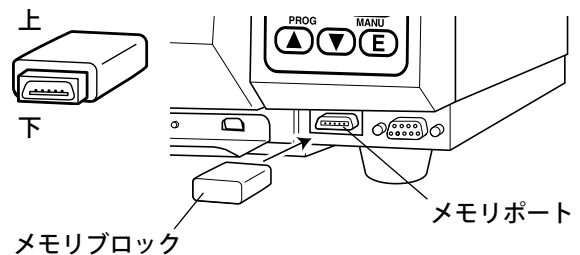


- 1** コネクターカバーを外す
プラスドライバーでネジを外してください。

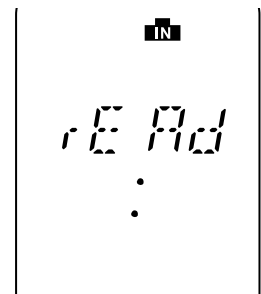


- 2** メモリブロックをメモリポートに差し込む。
上下を合わせて差し込んでください。

注記 メモリブロックの上下を間違えずに差し込む。
破損の恐れがあります。

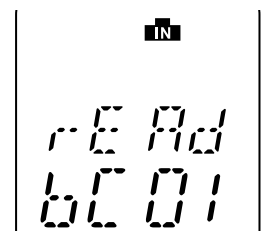


- 3** 電源が切れた状態または冷却運転中に
アップキー **(▲)** を押しながら
エンターキー **(E)** を押す。
メモリブロックランプが点灯し、サブ表示部に「rEAd」が、メイン表示部にコロン (:) が表示されます。
この状態をメモリ読み出しモードといいます。



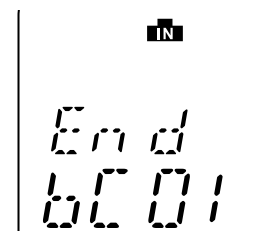
- 参照** 電源の切り方および冷却運転については
→「3.6 運転を終了する」17頁

- 4** 設定を読み出すブロック No. のメニューキー
(**(1)** ~ **(3)** のどれか) を押す。
メイン表示部左側に「bc」が、右側にブロック No. (01 ~ 03 のどれか) が表示されます。



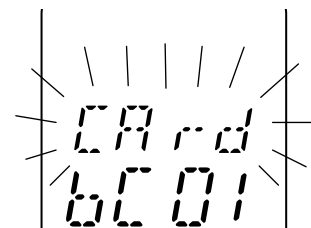
- メモ** データの読み出しを行わずにメモリ読み出しモードを終了する場合は
ON / OFF キー **(IO)** を押す。
電源が切れた状態または冷却運転になります。

- 5 エンターキー **(E)** を押す。
サブ表示部に「End」が表示され、読み出しが完了します。
3秒後、電源が切れた状態または冷却運転になります。

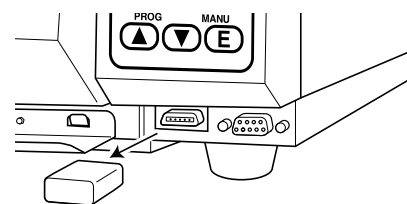


注記 読み出し中にメモリーブロックの抜き差しをしない。
故障の原因になります。

- 注記** メモリーブロックがメモリポートに差し込まれていない状態で読み出しを行おうとすると、サブ表示部に「CArd」と点滅表示され、3秒後「rEAd」表示に戻る。
メモリーブロックをメモリポートに差し込み、操作をやり直してください。



- 6 メモリーブロックをメモリポートから抜く。



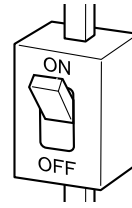
- 7 コネクタカバーを取り付ける。

注記 メモリーポート汚れ防止のため、コネクタカバーを必ず取り付ける。
破損の恐れがあります。

3.9.2 メモリブロックに書き込む

メモリブロックにデータを書き込む場合は以下の操作を行ってください。

- 確認** 電源プラグがコンセントに差し込まれていること。
手元開閉器またはブレーカが入れていること。



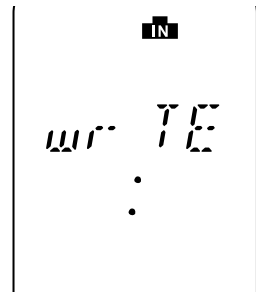
- 1** コネクターカバーを外しメモリブロックをメモリポートに差し込む。

- 参照** 「3.9.1 メモリブロックから読み出す」
24頁

- 2** 電源が切れた状態または冷却運転中に

アップキー **(▽)** を押しながら
エンターキー **(E)** を押す。

メモリブロックランプが点灯し、サブ表示部に「wrTE」が、メイン表示部にコロン(:)が表示されます。
この状態をメモリ書き込みモードといいます。

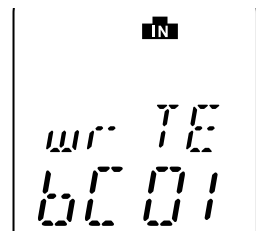


- 参照** 電源の切り方および冷却運転については
→「3.6 運転を終了する」17頁

- 3** 設定を読み出すメニューのメニューキー

(**1** ~ **3**) のどれか) を押す。

メイン表示部左側に「bc」が、右側にブロック No. (01 ~ 03 のどれか) が表示されます。

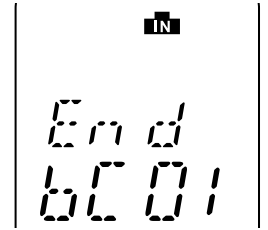


- メモ** データの書き込みを行わずにメモリ書き込みモードを終了する場合は
ON / OFF キー **(IO)** を押す。
電源が切れた状態または冷却運転になります。

4 エンターキー **(E)** を押す。

サブ表示部に「End」が表示され、書き込みが完了します。
3秒後、電源が切れた状態または冷却運転になります。

注記 書き込み中にメモリブロックの抜き差しをしない。
故障の原因になります。



注記 メモリブロックがメモリポートに差し込まれていない状態で書き込みを行おうとすると、サブ表示部に「CArd」と表示され、3秒後「wrTE」表示に戻る。
メモリブロックをメモリポートに差し込み、操作をやり直してください。





5 メモリブロックをメモリポートから抜き、コネクタカバーを取り付ける

参照 「3.9.1 メモリブロックから読み出す」
24頁


4. 保守・点検

4.1 点検・お手入れ時の注意事項

⚠ 警告

	<p>分解、改造をしない。 火災、爆発、感電等の恐れがあります。</p>
	<p>点検・手入れ時には手元開閉器またはブレーカを切る。 感電の恐れがあります。</p> <p>製品に水をかけない。 感電、故障および誤作動の恐れがあります。</p>

⚠ 注意

	<p>点検・手入れは製品が十分冷めてから行う。 ヤケドの恐れがあります。</p>
---	---

4.2 日常の点検

次の事項を毎日確認してください。

運転前

- 本体に傾きがないか。
- ねじにガタや抜けがないか。
- オープン内は清潔に保たれているか。
- 操作パネルに傷や破れ、めくれがないか。
- 扉がきちんと閉まるか。
- フィルタが汚れて目詰まりしていないか。

運転中

- 操作パネルの表示部は点灯するか。
- 設定した温度付近に庫内温度が達しているか。
- 運転中に普段は感じられない音や振動、臭いがないか。

4.3 日常の手入れ

注記 手入れを毎日欠かさず行う。
さびや破損の原因になります。

- 外装の汚れは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませた柔らかい布で拭き取る。
- 操作パネルの汚れは、水を含ませて固くしぼった柔らかい布で拭き取る。
ひどい汚れの場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませた柔らかい布で拭き取る。



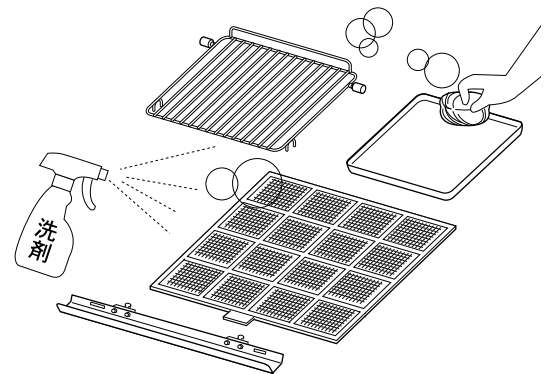
注記 オープン内の手入れはオープン内が十分冷めてから行う。
セラミックプレートが割れる恐れがあります。

- オープン内の汚れについては、中性洗剤と水をしみこませた布たわしでこすり、汚れが浮き上がったら水を含ませて固くしぼった柔らかい布で拭き取る。



- 棚網、くず受け、外付けトレイおよびフィルタを外して、中性洗剤などを用いて洗い、洗浄後は水をよく拭き取る。

注記 フィルタの手入れを欠かさず行う。
冷却不良による故障の原因になります。



メモ 「FLTr CLn」が点滅したらフィルタを清掃し、
エンターキー **(E)** を押す。

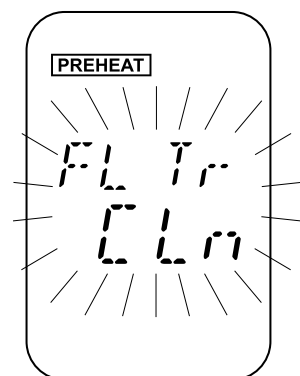
この表示はフィルタ清掃時期を表し、定期的に表示されます。

エンターキー **(E)** を押すと、この表示が消灯し、通常の予熱運転表示に戻ります。

メモ 「FLTr CLn」が点滅しても、調理は行える。

参照 部品の取り付け・取り外しについては

- ・ 棚網およびくず受け→
「4.4.1 棚網およびくず受け」30 頁
- ・ 外付けトレイ→
「4.4.2 外付けトレイ」31 頁
- ・ フィルタ→
「4.4.3 フィルタ」31 頁



4.4 部品の取り付け・取り外し

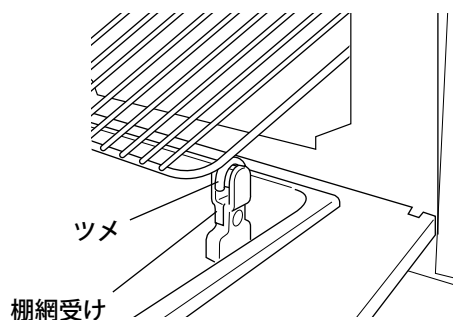
以下に示す部品は工具なしで取り付け・取り外しを行うことができます（清掃時や点検作業のときに取り外します）。

4.4.1 棚網およびくず受け

1 扉を開ける。

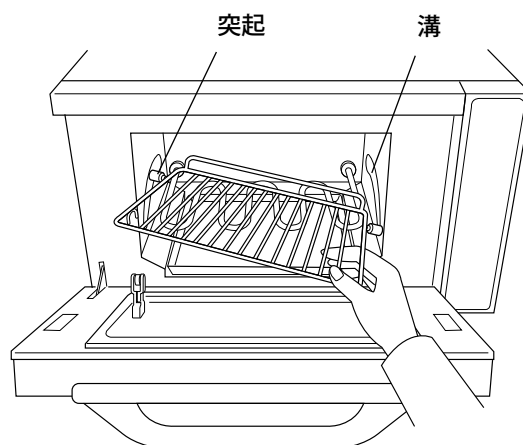
参照 「3.3 メニュー調理を行う」 9頁

2 棚網受けから棚網のツメを浮かせる。

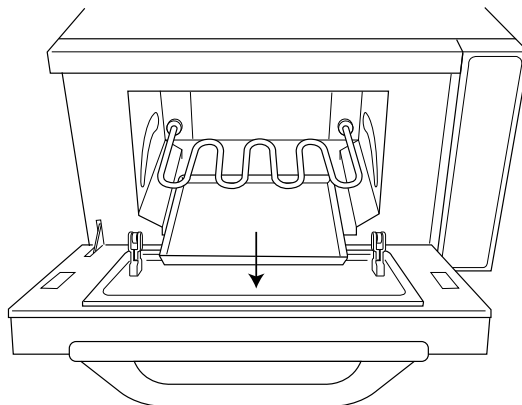


3 棚網をオープン内から外す。

棚網の左右どちらか一方を奥に、もう一方を手前にずらし、奥にずらした方を上に傾けると、棚網の突起がオープン内側面の溝から外れます。



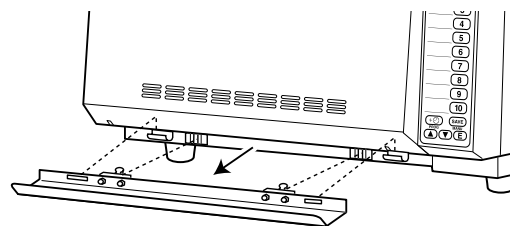
4 くず受けを引き出す。



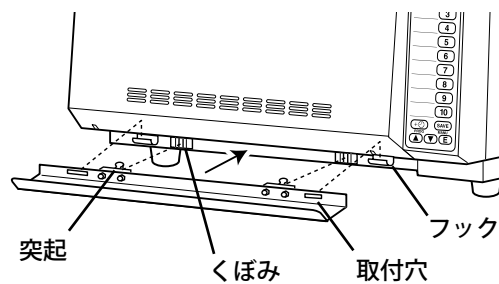
5 必要な作業が終わったら、1～4と逆の手順で棚網およびくず受けを取り付ける。

4.4.2 外付けトレイ

- 1 外付けトレイを外す。
上にずらすと手前に外れます。

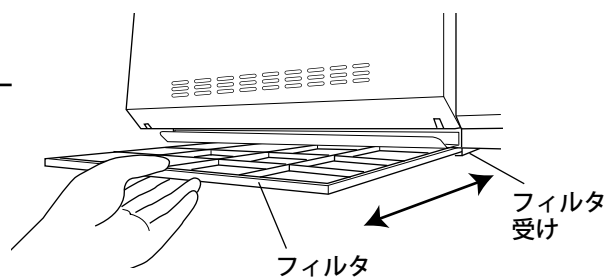


- 2 必要な作業が終わったら、外付けトレイを取り付ける。
外付けトレイの取付穴を本体下のフックに引っ掛け、突起をくぼみに差し込んでください。



4.4.3 フィルタ

- 1 フィルタを引き出す。
-
- 2 必要な作業が終わったら、フィルタを取り付ける。
フィルタ受けに沿って差し込んでください。



5. 異常時の処置

5.1 故障かなと思ったら

修理依頼の前にもう一度次の点をお調べください。

原因 \ 現象	電源が入らない。	キー入力を受けつけない。	オープン温度が上がらない。	調理を開始できない。	調理の仕上がりが悪くなった。	「FLTR CLn」と表示された。	エラーが表示された。	処置方法
手元開閉器またはブレーカが切れている。	○							手元開閉器またはブレーカを入れる。 「3.2.1 電源を入れる」7頁
電源プラグがコンセントから抜けている。	○							電源プラグをコンセントに差し込む。 「3.2.1 電源を入れる」7頁
ノイズなどによりコントローラが一時停止した。		○						手元開閉器またはブレーカを切ってから再度電源を入れる。 「3.6 運転を終了する」17頁 「3.2.1 電源を入れる」7頁
扉が完全に閉まっていない。			○	○				扉をしっかり閉める。
オープンの温度が低い (予熱ランプが点滅している)。				○				予熱ランプが点灯するまで待つ。
省エネ運転になっている。				○				省エネ運転を解除する。 「3.2.2 省エネ運転」8頁
設定が変わった。					○			正しく設定する。 「3.4 マニュアル調理を行う」12頁 「3.7 メニューを登録する」17頁
食材の状態が変化した。					○			適切な調理前温度、質量、形状および寸法（厚みなど）の食材を使用する。
フィルタの清掃時期になった。						○		フィルタを清掃し、エンターキーを押す。 「4.3 日常の手入れ」28頁
製品に異常が発生した。							○	点検する。 「5.2 エラー表示」33頁

上記項目に従って再度点検されても直らないときは使用を中止し、必ず電源を切り、お買い上げ店までお問い合わせください。

参照 点検、修理連絡については→「5.3 アフターメンテナンス」33頁

5.2 エラー表示

表示部に下表の文字が点滅表示（エラー表示）された場合、製品に異常が発生しています。

ON / OFF キー **(IO)** を押してエラー表示をリセットし、下記項目に従って点検を行ってください。
点検または修理を依頼する際は使用を中止し、必ず電源を切り、お買い上げ店までお問い合わせください。

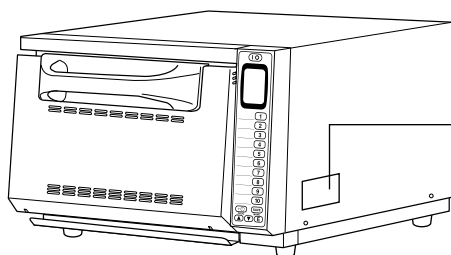
表示		状況	対処方法
サブ表示部	メイン表示部		
Er 1	b U r n	庫内用温度センサが断線した。	修理を依頼する。
Er 2		上ヒータ用温度センサが断線した。	
Er 3		下ヒータ用温度センサが断線した。	
Er 4	o H I	庫内温度が異常に上昇した。	製品の温度が十分下がってから運転を再開する。 繰り返しエラーが出る場合は修理を依頼する。
Er 7	H I H I		
Er 8	H o T	製品内部の温度が異常に上昇した。	フィルタを清掃し、製品の温度が十分下がってから運転を再開する。 繰り返しエラーが出る場合は修理を依頼する。
Er 9	b U r n		
Er 10	H H H H		
Er 11	P o S H	供給電圧が低下した。	運転を再開する。繰り返しエラーが出る場合は点検を依頼する。
Er 12	C o m	基板に通信異常が発生した。	
Er 13	m E m	設定データが入っていないブロックから読み込みを行おうとした。	設定データが入っているブロックから読み込みを行う。
		メモリブロックに通信異常が発生した。	メモリブロックを取り付け直し、操作をやり直す。繰り返しエラーが出る場合は修理を依頼する。
L I F E	m G n T	マグネトロン（マイクロウェーブを発振する部品）の交換時期になった。	点検を依頼する（表示が出ても調理は行える）。
L I F E	F I L T		

参照 点検、修理連絡については→「5.3 アフターメンテナンス」本頁

5.3 アフターメンテナンス

修理を依頼される場合は、製品に貼付してある製造銘板の型式および製造番号もあわせてお知らせください。

製造銘板貼付位置



製造銘板
右側面に貼付
してあります。

製造銘板

品名	ウェーブスター	
型式	MEWS605A	
製造番号	09.12-T05109120000	
電源仕様	単相 200V 50Hz	3.30kW
	定格高周波出力	0.600kW
	電熱装置の定格消費電力	1.70kW
	定常時最大線電流	16.6A
	NEOSYS	
	株式会社マグナ	

6. 移設または廃棄するとき

6.1 移設する際の注意

本製品を移設する場合は、お買いあげ店にご依頼ください。

参照 移設準備については→「工事説明編 1. 設置前の注意事項」36頁
「同 3. 移設」38頁

注記 製品の移設は販売店に依頼する。
不適切な移設作業は故障の原因になります。

6.2 廃棄する際の注意

この製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第2条により定められた産業廃棄物に該当します。廃棄する際は、各地方自治体の政令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど、適切な処理をしてください。不適切な処理は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第27条等により処罰されることがあります。

7. 製品仕様

7.1 仕様

型式		MEWS605A	MEWS606A
外形寸法 [mm]	間口	470	
	奥行	550	
	高さ	300	
オープン内寸法 [mm]	間口	270	
	奥行	189	
	高さ	167	
調理有効寸法 [mm]	間口	250	
	奥行	165	
	高さ	75	
電源	単相 200V 50Hz	単相 200V 60Hz	
ヒータ出力 [kW]	上：1.00 下：0.700		
マイクロウェーブ出力 [kW]	0.600		
総合消費電力 [kW]	3.30		
定常時最大線電流 [A]	16.6		
外装	ステンレス鋼板		
オープン内装	ステンレス鋼板		
断熱材	セラミックファイバー		
加熱方式	ヒータ加熱+マイクロウェーブ加熱（併用式）		
温度制御システム	予熱時：ヒータ温度制御		
	調理時：ヒーター表面温度 2段階制御		
マイクロウェーブ出力制御	0 / 100%		
調理コンピュータ機能	10メニュー設定+マニュアル		
調理ステージ	Max 3ステージ（各メニュー）		
製品質量 [kg]	31		

7.2 オプション

当社では以下の別売部品を取り扱っています。必要に応じてご使用ください。
購入の際はお買い上げ店にご連絡ください。

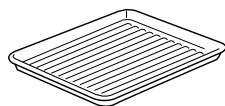


メモリーブロック

(部品コード：PO22781-00)

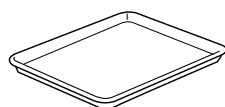
製品の全設定データを保存し、他の製品とそのデータを交換することができます。

参照 メモリーブロックの使用方法については→
「3.9 メモリーブロックによるデータ交換」 23頁



専用波型パン

(部品コード：PC51133-00)



専用平型パン

(部品コード：PC51132-00)



JPシート





(部品コード：PA39229-00)

参照 専用波型パンと専用平型パン、JPシートの詳細については→
「1.5 使える容器・使えない容器」 3頁

1. 設置前の注意事項

1.1 設置場所の確認

次の条件を満たした場所に設置してください。

⚠ 警告	
	屋内であること。 事故や故障の原因になります。
 	可燃物を扱う場所ではないこと。 火災、爆発の恐れがあります。 水平で丈夫な台の上であること。 製品の転倒等による事故の恐れがあります。
	水がかからない場所であること。 感電、故障および誤作動の恐れがあります。

1.2 製品の確認

- 本製品の電源仕様と使用する電源が適合しているか確認する。

本製品の電源仕様は製造銘板に記載されています。

参照 製造銘板の位置 → 「取扱説明編 5.3 アフターメンテナンス」33頁


- 製品の外観をチェックして、製品本体に損傷がないか確認する。
- 付属品、添付品がそろっているか確認する。

参照 添付品、付属品については →

「取扱説明編 2.2 付属品」7頁

「取扱説明編 2.3 添付品」7頁

1.3 搬入時の注意

⚠ 警告	
	扉および扉ハンドルを持たない。 電波漏れ、熱気漏れ、故障の原因になります。

注記 衝撃や激しい振動を加えない。

故障、破損の原因になります。

2. 据え付け工事・試運転

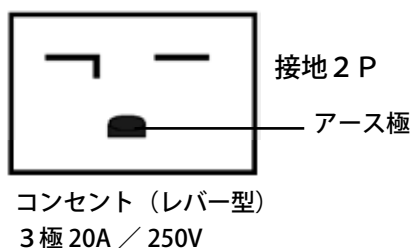
2.1 電気工事

2.1.1 使用電源

注記 製品表示の電源で使用する。
本来の性能を発揮できないばかりか、誤作動が発生する恐れがあります。

2.1.2 専用コンセントの設置

専用コンセントをご使用ください。この製品にはアース極付きプラグが付いていますので、それにあったコンセントをご用意ください。



2.1.3 手元開閉器の設置

● 本製品の定常時最大線電流は 16.6A です。その数値に準じた手元開閉器を設けてください。

2.1.4 接地（アース）工事

感電事故を防止するために電源コードのアース線を D 種接地工事以上の接地極（アース）に接続してください。接地（アース）工事は、電気専門家（電気工事士）による工事を必要とします。設置時の電源接続工事はお買い求めの販売店または、電気工事店に依頼してください。

2.1.5 漏電遮断器の設置

水気のある場所でお使いになる場合、感電事故防止のために漏電遮断器等を取り付けることが法律で義務づけられています。

2.2 試運転

確認 正しく設置工事されていること。

「取扱説明編 3. 使用方法」6 頁に従って試運転を行い、以下の点を確認してください。

- オープン温度が予熱温度に達すること。
 - 調理が正しく行われること。
- 食材が使用できない場合は、耐熱皿に水を入れたものを食材の代わりにオープン内へ入れて、調理を行ってください。

注記 オープン内が空の状態での調理を行わない。
故障の恐れがあります。

参照 試運転時に異常が出た場合は→「取扱説明編 5.1 故障かなと思ったら」3 2 頁

3. 移設

3.1 旧設置場所からの撤去作業

1 手元開閉器またはブレーカを切り、コンセントから電源プラグを外す。

2 付属品、添付品および取り外した部品があるか確認する。

参照 付属品、添付品については→「取扱説明編 2.2 付属品」7頁、「取扱説明編 2.3 添付品」7頁

3 扉や取り外し可能な部品が移動時に動かないように固定する。

3.2 運搬

- 適切な保護を施し、立てたまの姿勢で運搬する。
- 添付品や取り外した部品を一緒に運ぶ。
- 強い振動や衝撃を与えないようにする。

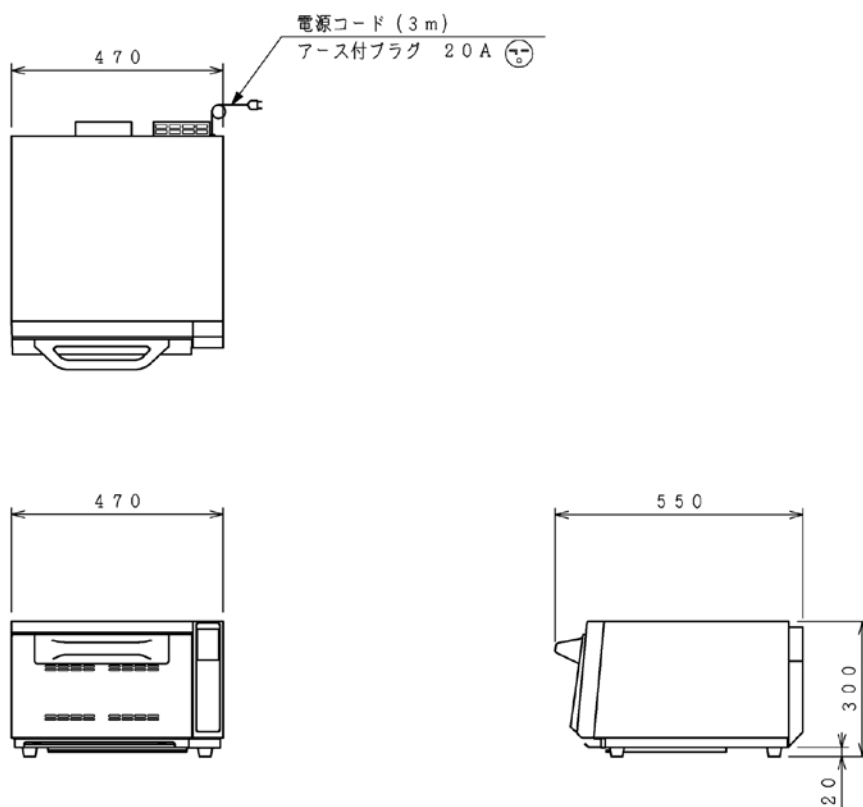
参照 「1.3 搬入時の注意」36頁

3.3 移設先での設置

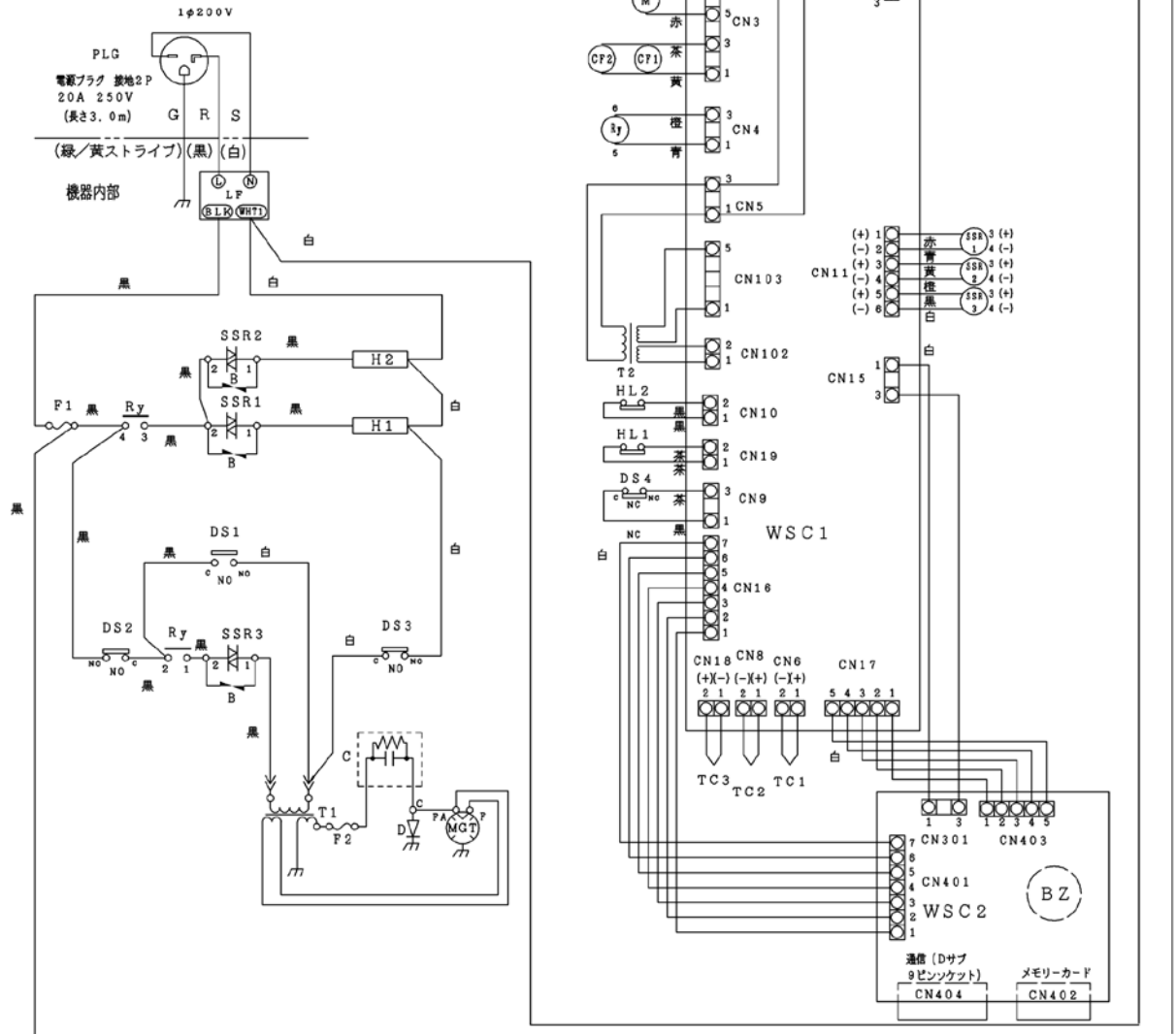
新設の場合と同様、全ての作業を行ってください。

参照 「1.設置前の注意事項」36頁
「2.据え付け工事・試運転」37頁

4. 外形寸法



5. 電気回路図



記号	品名	品番	数量	備考
PLG	電源プラグ	PE02408-00	1	250V 20A
LF	ラインフィルタ	PE21653-20	1	
F1	ヒューズ	PE06030-00	1	250VAC 20A
F2	ラインヒューズ ASSY	H229409	1	5kV 600mA
Ry	リレー	PE21130-20	1	
SSR1	SSR 放熱グリス付	H229408	1	上ヒータ用
SSR2			1	下ヒータ用
SSR3			1	高圧回路用
H1	上ヒータ	PE71194-00	1	200V 1kW
H2	下ヒータ	PE71198-00	1	200V 0.7kW
DS1	ドアスイッチ組 左用	H229411	1	11A 250VAC
DS2				16A 250VAC
DS3	ドアスイッチ組 右用	H229410	1	0.1A 250VAC
DS4				
B	バリスタ	—	3	SSR1 ~ 3 に内蔵
T1	高圧トランス	PE04140-20	1	MEWS605A
		PE04142-20		MEWS606A

記号	品名	品番	数量	備考
T2	電源トランス	PE04141-20	1	200V/12V
C	高圧コンデンサ	PE09352-10	1	MEWS605A
		PE09413-00		MEWS606A
D	高圧ダイオード	PE09545-00	1	
MGT	マグネトロン	PE09527-00	1	
WSC1	コントロール基板	PE21765-20	1	
WSC2	コネクタ基板	PE21766-00	1	
M	ターンテーブルモータ組	H229395	1	
CF1	冷却ファン組	H229394	1	
CF2	ファンモータ組	H229372	1	
HL1	過昇防止器	PE30079-00	1	オープン用
HL2		PE30056-00	1	マグネトロン用
TC1	温度センサ K 熱電対	PE39039-00	1	オープン用
TC2	温度センサ	—	1	H1 内蔵
			1	H2 内蔵
TC3	温度センサ	—	1	H2 内蔵
BZ	ブザー	—	1	WSC2 内蔵

株式会社 **マグナ**